



英語活動

11月20日(月)に、外国語指導助手(Ms Jizel Anne Cunanan)による英語の授業がありました。見慣れない機材を使い、また、外国語での授業ということで、初めは緊張した様子の子供たちでした。しかし、授業が始まると一変、Jizel先生の明るい声と楽しい質問のおかげで、子供たちの真剣に考える顔や、答えられて笑顔になる姿が見られました。

Jizel先生の英語を用いた自己紹介クイズから始まり、知っていそうで意外と知らないフィリピンの首都や国旗、文化の違いに驚きの声が上がりました。また、趣味の紹介コーナーでは、先生が描いた上手な絵を披露していただき、子供たちから歓声上がる場面も。

グループで活動する時間では、記憶力を試す問題と使い慣れない英語に悪戦苦闘しながらも、友達からのアドバイスなどを生かして、チーム一丸となって取り組む姿が見られました。

授業を終えた後、Jizel先生の周りに子供たちが集まり、口々に楽しかったと言っている声が聞こえ、とても充実した時間を過ごせたことが窺えました。



Jizel先生の話を興味津々に聞く様子。趣味で描いたという絵に歓声。



ジョイントフェスタ

12月8日(金)に、L P・G(ライトポート・グループ活動)の交流の場である、ジョイントフェスタがありました。

ジョイントフェスタは、各教室がそれぞれ出し物を考え、発表をするというもので、他のLPやGのことを知ることのできる貴重な機会でもあります。

L P稲毛の出し物は…息の合ったダンスシーンありの劇! 12月発表ということで、クリスマスとL P稲毛を組み合わせたオリジナルの冒険物語を考えました。子供たちから様々な案が出る中で、話し合いを重ね、ストーリーまで決まったら、次は台詞を入れての練習です。しかし、一筋縄ではいきません。台詞や動きなど、こうした方がよいという意見が練習をする度に挙がり、台本の完成にとても時間がかかりました。また、慣れない演技にも苦戦し、喜怒哀楽を声や表情で相手にわかるように表現することや難しく、本番前日も話し合っている子供たちの姿が見られました。ダンスも初めての子供たちが多く、最初はリズムに合わせて動くことに苦労していましたが、何度も練習を重ねていくうちに、少しずつ息も合い、『もっとなダンスの練習がしたい。』と言うまでにまりました。

こうして様々な苦難のハードルを乗り越え本番を終えた子供たちの顔には、キラキラとした素敵な笑顔が見られました。



子供たちが製作したバベット。ダンスも演技も気持ちがかもっています。